

# 決意を持って組織拡大を!

## 東海本部・組織拡大交流集会を開催



国鉄労働組合  
東海エリア本部

東京都港区新橋5-15-15  
交通ビル4階  
発行責任者 渡邊良成  
編集責任者 細木義孝



国労本部・田中副委員長のレジュメに目を通し提起を傾聴

東海本部は、6月28日、東京・南部労政会館で組織拡大交流集会を開催し、50名の参加があった。国労本部からの組織拡大に向けての提起、組織拡大の成果の報告、分散会を行い、真剣且つ活発な議論により、今後の組織拡大に向けての決意を固めあう一日となった。(分散会報告などは、2面に記載)

### 分散会で充実討論

東海本部は、この間行ってきた組織拡大の取り組みや成果などを討論し、今後の組織拡大に向けた流れをつくる契機となる場として集会を開催した。

の提起に続き、貨物2分会からの成果報告を受けた。  
「国労加入を決意させるために必要なことはどんなことか」「組織拡大に向けて協力者をどのように作っているか」「他労組組合員の不満や関心事を国労

機関としてどう活用しているのか」などのテーマで討論された。それぞれの班では、職場や機関での取り組み、対象者への話の切り出し方などを話し合い、参加者一人ひとりが「拡大させる」決意を強く意識する充実した内容となった。

### 貨物2分会が 拡大の成果を報告



国労加入の西川さん(向かって左)と原田さん(右)が参加

静岡地本・東部支部の貨物分会・水野分会長からは、加入対象者に、分会書記長が飲んだり遊びを交えて楽しみながら、個人負担はあっても継続してきた。

分会での議論を経て、時期を見て書記長が、「国労に入れ」と強い意志を伝えての加入となったと報告された。

東静岡機関区分会・井上さんからは、分会執行委員会で組織拡大を毎回議論して様々な活動をした。若い人が仕事、労働条件、賃金で不満があり、分会で相談に応じたり、分会レクに対象者と家族を誘い、分会の機関紙内容の工夫や組合掲示板の活用などを行った。学習会に参加して学ぶ様になり、国労の行動に関わり、理解を深めて成果につながったと報告された。

### 東海本部・渡邊委員長の挨拶 (要旨)



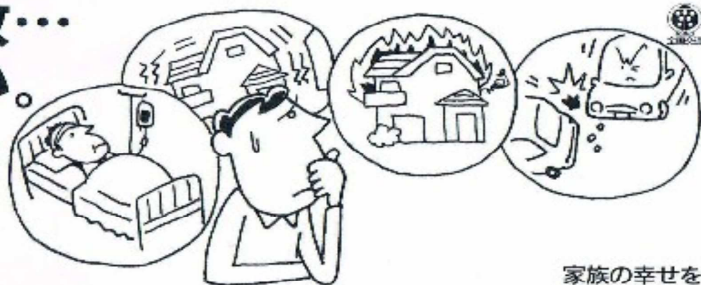
東海本部・渡邊委員長

本日報告される組織拡大の成果は、分会の仲間が集まって意思統一し、分会が組織的に動き、機関紙の内容も検討され工夫した結果としての組織拡大です。また、貨物協議会との連携によ

る成果でもあり、個人、分会、貨物協議会の各レベルでの積極的な行動です。組織拡大は組織戦です。オルグの過程でいろいろなことがあり、さまざまな軋轢を乗り越えてゆく上でわれわれ自身の覚悟が必要です。組織拡大はまだまだ真剣に取り組まれていません。本日の交流集会を機に本気でがんばりましょう。

## 入院、地震、火災、交通事故… 一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。  
何事も備えあれば憂いなし。  
あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、  
しっかり組み合わせて幅広く保障します。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

契約引取団体：東海労働組合東海本部



# 分散会で真剣な討論

組織拡大交流集会の分散会は、4班に分かれて約2時間行われた。各班の議論では、真剣な討論がされ、各班からその報告がされた。最後に上野書記長のまとめで交流集会を終了した。

## 第1分散会の報告

新採者へは、各職場で接点を持つているが、個人的で職場の全組合員や分会全体のものになっていないことや組織的な取り組みを迫及することの必要性が述べられた。分会活動では、機関会議の定期開催、機関紙の定期発行と有効活用が必要と強調された。ま



### 積極的な発言を真剣に受け留める分散会

若い人と趣味などの接点がないため仕事の話をし、他労組との違いや会社の態度から本人が国労を考えて

## 第3分散会の報告

国労加入した西川さんと原田さんも議論に参加していただいた。若く元気な二人に比べ、私たちは弱気で押されている感じがあり、交流する中で二人に激励されました。国

## 第2分散会の報告

た、遠慮や躊躇して加入を勧められない状況は、我々の決意が不足していると報告した。

## 国労本部・田中副委員長の提起(要旨)

国労本部・田中副委員長は、国労の歴史から学ぶことが大切であり、「職場に労働運動を」をスローガンに、職場が基礎で要求解決や闘いを組織し、職場に労働運動を定着させてきた伝統ある国労運動に



国労本部・田中副委員長

確信を持つことが大切であると指摘した。続けて、国労と他労組との明確な違いを説明し、国労は団結し、仲間を差別しない民主主義の闘う組織であること

もろう様な対応もある、との発言や組合を知らない若い社員への対応が必要であると同様に「入れる」との決意と具体的行動の重要性が話された。また、会社の管理が厳しい中で自己中心的で横並びの意識の若者に対し労働組合の存在が大切であることが強調され、本音が言い合える仲間や組織、仕事を通して会社と対峙し、労働者の権利を守る組織が国労であると報告した。

今後の課題については、分会や各機関の育成強化と全機関と全組合員による加入の呼びかけ、長期的・連続的・継続的な統一行動の展開や目標を高く執念を持って徹底して追及することを提起した。



2班座長が分散会報告

## 第4分散会の報告

加入対象者を飲み会やレクなどに誘って、そこから先の一步踏み込む決意が必要であるために、世話役活動などをまめに行っていくことが重要

と述べた。また、対象者が退職した事例や転勤の不安があつての未加入、会社が親を通しての国労脱退など、率直に困難な点も話されたと報告した。

## 書記長のまとめ

上野書記長は、「何かをやる」として、どうしたら良いのか」という問いが分散会で多く出された。加入した西川さんが、国労らしさを前面に出してゆけば若い人たちの理解が広がる、と一步踏み込んだ発言」と述べた。

続けて、組織拡大をした職場は、分会の組織活動がしっかりできてきていること、組織の強化と拡大はどちらが先といったものでなく、一体のものであり、決意を持って関わるこ

**「がん」の保障 <生きるためのがん保険Days(デイズ)>**

保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合 一時金として 100万円	上皮下内新生物の場合 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金 1日につき 10,000円	
通院したとき	通院給付金 1日につき 10,000円	
手術したとき	手術治療給付金 1回につき 20万円	
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金 1回につき 20万円	
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金 1カ月 10万円 (すべての保険期間を通じ通算600万円まで) 1カ月 5万円 (乳がん・前立腺がんのホルモン療法の場合)	
訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)	プレミアムサポート	

生きるためのがん保険DAYS(デイズ) スタンダードプラン  
◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在)  
入院給付金日額10,000円 定額タイプ保険料  
払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	3.5歳	4.5歳	5.5歳	6.5歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

<募集代理店>  
アベニール株式会社 AF007-2011-0186 4月25日  
TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822  
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5交通ビル3F  
<引受保険会社> アフラック 東京第三法人営業部  
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル  
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き  
コールセンター 0120-5555-95

◎詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。